

京都エリアで IoT 活用おもてなし実証事業を開始しました

～スマホで地域情報とQRコード決済機能を提供し、訪日観光客の店舗誘客・おもてなしを向上～

京なか株式会社（所在地:京都市下京区、代表取締役 桂田 佳代子）は、経済産業省の平成 29 年度補正予算「IoT を活用した新市場創出促進事業費補助金（IoT 活用おもてなし実証事業）」に採択されたことを受けて、自身が提供する「KoI（こい）サービス」を通して収集・加工した情報を、経済産業省の IoT 活用おもてなし実証事業で提供されるおもてなしプラットフォームと連携しています。おもてなしプラットフォームと連携する取り組みは、京都エリアでは初となります。

当事業を通して、これまでの Android 版アプリに加えて、新たに iPhone 版アプリを制作します。iPhone 版アプリには QR コード決済ができる機能を搭載しており、2019 年 1 月以降、「KoI（こい）サービス」の利用店舗の一部で利用できるようになっています。

「KoI（こい）サービス」は訪日観光客を店舗に誘客する IoT サービスで、観光客の分散化にもつながる“四方よし”を目指しております。

「KoI（こい）サービス」と実証の概要は、下記の通りです。

■ 「KoI（こい）サービス」の概要 ■ <http://kyonaka-gozan.kyoto/koi/>

スマートフォンと発信器を使った仕組みです。

ビーコン発信器は、店舗や宿泊施設、観光案内所などに設置。観光客が発信器の近くにきたら、観光目的や出身、性別、年代などターゲットを絞って自動でクーポンや広告、誘導情報などを配信します。他店や宿泊施設などに設置された発信器を使って情報配信する事もできます。

スマホに通知

Wi-Fi なしでも店舗情報が閲覧
(日本語、英語に対応しています)



発信器
(店先に設置)



発信器に
近づいたら
Push通知



ビーコン発信器
の大きさ
(7cm×5cm×2.8cm)



外国人観光客へのアプリのダウンロード広報は、観光案内所や宿泊施設などに置くチラシなどで行います。

京都ではWi-Fiが繋がりにくいエリアもありますが、当アプリはWi-Fiが繋がらなくても店舗情報を見たり、クーポン情報などを受け取る事が可能です。

また、近々開催されるイベント情報や、自然災害時などの情報を受け取ることもできます。

「KoI (こい)」とは、「Kyoto (京都) Omotenashi (おもてなし) for Inbound (外国人観光客)」の略称です。



イベント情報などの
配信のイメージ



■実証の概要■

- ・実証期間 : 2018年9月～2019年3月下旬 ※2019年4月以降～有償サービスに移行
- ・実証エリア : 京都駅～丸太町付近、嵐山など公共交通沿線を中心としたエリア
- ・実証内容 : iPhone アプリを提供。エリア内の観光案内所、宿泊施設、宿泊施設周辺の店舗などにビーコン発信器・チラシ・シールを設置。実証期間中はサービスを無償提供。アプリユーザーの属性、動向データを本人同意のもと収集し、IoT 活用おもてなし実証事業で提供されるおもてなしプラットフォームと連携させます。
- ・実証規模 : 2019年2月末日時点で約70か所に発信器を設置。

■「おもてなしプラットフォーム」について

経済産業省では、IoTを活用し、サービス事業者同士が情報を共有・活用して質の高いサービスを提供できる仕組み「おもてなしプラットフォーム」を構築し、2020年までに社会実装することを目指しています。

具体的には、訪日外国人旅行者が、買い物や飲食、宿泊、レジャー等の各種サービスを受ける際に求められる情報等について、本人の同意の下、これらの情報を「おもてなしプラットフォーム」に共有・連携することで、「おもてなしプラットフォーム」を介して、様々な事業者や地域が情報を活用した高度で先進的なサービスを提供できる仕組みを実証しています。

(参考) おもてなしプラットフォーム :

<http://www.meti.go.jp/main/60sec/2017/20170118001.html>

<https://www.withjorge.jp/>

■本件の問い合わせ先■

京なか株式会社 担当 : 代表取締役 桂田 佳代子 (かつらだ かよこ)

TEL : 080-4562-5300 Email : katsurada@kyonaka-gozen.kyoto